

# おもしろい方言や民話

- 会津の方言にはどんな特徴があるか調べてみよう。

武家社会のなごりや、古い言葉がなまったものなど、方言には面白い表現があります。

【検索例】会津地方 方言

- なんで方言ができたのか、その歴史を調べてみよう。

方言は狭い地域や仕事の種類、土農工商という身分制度の仲間うちの言葉だったのかも知れない。【検索例】会津 歴史 達人

- 猪苗代町の方言と自分たちの地域の方言を比較してみよう。

自分たちが友達と話している言葉のなかにも、その地方独特の方言がまじっているかも知れない。【検索例】県別 方言 県民性

- 有名な民謡“会津磐梯山”の歌詞の内容を調べてみよう。

民謡“会津磐梯山”の歌詞は何番まであるのか？ 掛けあいに出てくる“小原庄助さん”とは誰？【検索例】小原庄助 民謡 会津磐梯山

- 猪苗代町の有名な民話を集めて調べてみよう。

磐梯山や猫魔山に住んでいた化け物“手長足長”や、弘法大師があちこちに出てくる理由。【検索例】民話 猪苗代町 磐梯山

- 猪苗代町の民話にある特色はなにか調べてみよう。

磐梯山の噴火をあつかった民話や、昔栄えていた古代仏教のお寺にまつわる話が多いのはなぜだろう。【検索例】磐梯山 民話 火山 いなわしろ民話の会

- 自分たちの町や猪苗代町に多い姓を調べてみよう。

猪苗代には小檜山や小坂橋、神、笠間、星、六角、そして野口という姓が多い。自分たちの町はどうだろう。【検索例】猪苗代町 多い 姓

- 伝統行事やしきたりを自分たちの町と比較してみよう。

お祭りや季節の祝い方には地域毎の特色があります。どんなお祭りや歳時記があるか調べてみよう。【検索例】(地名) 歳時記 行事



お祝いの席で踊る三番叟(さんばそう)



昔の民家、旧山内家

文章中の【検索例】キーワードを、ふたつ以上組み合わせさせてGoogleで検索してみましょう。

**Googleで人名を検索する時は**

Google検索で、人名を検索する時は姓と名の間のスペースは入れないで“野口英世”と入れましょう。“野口英世”で検索するとマラソン選手の“野口みずき”さんや宇宙飛行士の“野口聡一”さん、また同姓の“英世”さんも出てきてしまうからです。



## 会津・猪苗代地方の方言

会津地方の方言の特徴の第一は、濁音が多いことです。お年寄りや仲間うちの遠慮のない会話を聞いていると、「スンブンス(新聞紙)」「ザッス(雑誌)」「オシシにおジャ(お寿司にお茶)」といった言葉が飛び交っています。

また「リ」と「チ」の混同も目立ちます。例えば「バスからオチル」といったら他の地方の人はびっくりしますが、会津の人は平気です。「おちる」というのは、「降りる」ということであって、転落することではないからです。

会津弁の独特の言い回しが丁寧語。語尾に「～なし」か「～なんしょ」がつけます。例えば「そうですね」は「そうだナシ」となり、「何々をしてください」は「何々をしてクナンショ」となります。

年配の人と話すときよく出てきますので、こう言われたら丁寧に「おんばい」もてなされていると思っていましょう。仲間うちでは、どこかに行くのを「どこそこサ行くベエ」、肯定を意味する「そうですね」は「そうだナス」「そうダッベ」となります。

独特の言い回しも多く、ニシャ(お前)、ワラス(子供)、ゴシャク(腹が立つ)、シコタマ(たくさん)、タガク(持ち上げる)、ホロツク(落っこした)などの言葉は今でも、日常会話に生きています。

会津人の気質について、よく「無口」「内向的」「排他的」といわれますが、本質はそれほどではなく、むしろこういう東北人にありがちな言葉コンプレックスに原因があるのかも知れません。



花嫁行列



昭和初期の服装



### 猫魔ヶ岳 (1404m)

化け猫が住んでいたという伝説のある古い火山。その火口湖が雄国沼。

### 会津磐梯山 (1819m)

昔は病悩山といわれ、手長足長などの化け物が住んでいたという伝説があり恐れられていましたが、いまでは福島県のシンボルの山になっています。

### 日本一よく知られた民謡

全国に数ある民謡の中でも「会津磐梯山」は、日本人なら誰でも知っているよく知られた民謡です。

また、振り付けが割と憶えやすく各地の盆踊りでも踊られることが最も多い民謡です。せっかく磐梯山の麓にやってきたこの機会に、荷物にならないお土産を憶えて帰りましょう。きっといつか、どこかで役に立ちます。

### 国指定史跡「慧日寺」

1200年前の平安時代初期、外来の宗教であった仏教は日本古来の山岳信仰や神道と結びつき、高僧徳一によって開かれたのが、会津仏教文化発祥の地「慧日寺」です。

### 総合体育館カメリーナ

毎年ここで「民謡あいづ磐梯山全国大会」が開催されます。

### 旧山内家住宅

祝儀帳によると文化8年(1811年)11月の建築で直屋、寄せ棟づくりの茅葺き屋根です。村役人層の中農住宅であったと思われます。昭和47年、町内砂川から移築復元しましたが、積雪などを考慮して、完全な原型復元にはなっていません。

## 古きを訪ねて新しきを知る

固有の風習やしきたりが時とともに消えてゆき、見るのできなくなった農村の文化を、テーマにして研究してみましょう。日本文化の源流を支えてきた、古き良き時代の農村文化の奥深さが見えてきます。

例えば、猪苗代町には「嫁入り」を支える文化や風習がまだたくさん残っています。60年前から70年前に猪苗代町で行われていた「祝言」、この結婚式の様子を忠実に再現して行うイベントが毎年、開催されています。

衣装や使用する道具などは、当時使用していた実物をそのまま使い、化粧や着付けもできる限り当時のまま再現しています。これが猪苗代町指定文化財の旧山内家を花嫁宅とし、昭和初期の嫁入りの風習やしきたりをいまに伝えるイベント「おシンさんの嫁入り行列」です。

## 猪苗代町の文化関連 Web サイト

- 町に残されている古いもの【Google検索】猪苗代町 郷土読本  
<http://www.db.fks.ed.jp/txt/10052.101.inawashiro/hm/l00087.htm>
- 民謡会津磐梯山を聞く【Google検索】民謡 会津磐梯山  
<http://www.mahoroba.ne.jp/gonbe007/hog/shouka/aidubandaisan.htm>
- 福島の話【Google検索】猫魔ヶ岳 民謡 茶屋  
[http://www.o-miwa.com/hukusimano\\_miwa/miwaazensyu/densetu.htm](http://www.o-miwa.com/hukusimano_miwa/miwaazensyu/densetu.htm)
- 会津磐梯山の伝説【Google検索】磐梯山 伝説 手長足長  
<http://homepage3.nifty.com/hkaka/tsukasa/bnasnaga.htm>
- 磐梯山慧日寺資料館【Google検索】ATI 徳一 慧日寺  
[http://www.tif.ne.jp/pn/ati/SearchContentDetail\\_a-1-g-27-c-599.pst](http://www.tif.ne.jp/pn/ati/SearchContentDetail_a-1-g-27-c-599.pst)
- 嫁入り行列の舞台「旧山内家」【Google検索】ATI おシンさん 山内家  
[http://www.tif.ne.jp/pn/ati/SearchContentDetail\\_a-1-g-26-c-265.pst](http://www.tif.ne.jp/pn/ati/SearchContentDetail_a-1-g-26-c-265.pst)
- 会津地方の面白い方言【Google検索】初歩の会津弁講座  
[http://www.tif.ne.jp/pn/ati/SearchContentDetail\\_g-45-a-1-c-605.pst](http://www.tif.ne.jp/pn/ati/SearchContentDetail_g-45-a-1-c-605.pst)
- 猪苗代町の面白い地名【Google検索】猪苗代町 郵便番号  
<http://www.towninf.co.jp/07/07408/192.htm>